

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	丸一堺 コラム製品倉庫	階数	地上1F
建設地	大阪府堺市西区石津西町16番	構造	S造
用途地域	工業専用地域、その他地域	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	2,016時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 竣工	評価の実施日	2013年7月20日
敷地面積	123,142 m <sup>2</sup>	作成者	曲村 繁和
建築面積	3,039 m <sup>2</sup>	確認日	2013年8月7日
延床面積	3,039 m <sup>2</sup>	確認者	曲村 繁和



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 81%  
③上記+②以外の 81%  
④上記+ 81%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	既設工場の倉庫増築工事であり、周辺建物との調和と周辺環境に調和する様配慮した。又 外装を鋼板とし耐久性のあるものとした。	<b>その他</b> 建設工事における廃棄物削減としては、各資材の歩留まりを少なくする様 計画・管理を行った。 使用材料はリサイクル性の高い材料を使用した。
<b>Q1 室内環境</b>	鋼管製品倉庫用途の建物で、要求水準は低い。高窓をオペレーターで開閉出来る様にしている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 倉庫用途であり、周辺環境を悪化させる要因は少ない。
<b>LR1 エネルギー</b>	省エネルギー消費建築物となっており、負荷が少ない。	<b>LR3 敷地外環境</b> 工業団地の一角ではあるが、緑地整備に努め、近隣環境整備に配慮した。
<b>Q2 サービス性能</b>	シンプルな設備配置となっており、露出施工の為 維持管理・設備の更新は容易である。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	鉄骨造・鋼板外装の建屋の為、高耐久性であり、リサイクル転用率も高い。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	丸一鋼管(株)堺工場コラム製品倉庫棟 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市西区石津西町16番	1.2	B+
	主用途/延床面積	工場 / 3,039.39 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.7	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	1.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	